

瑞穂史跡巡り 良どころ満載!! その2  
健康ウォーキング・マップ

～ 広くから住み慣れたこの地をたずねてみて～



瑞穂まちづくり協議会

～ 誰もが生涯安心して生活でき、  
心豊かな瑞穂の郷づくり～

主なチェック箇所

D 谷中鉱泉跡

時 分

かっぱ緑地

時 分

名前

かっぱ緑地



春…桜  
夏…水蓮

A 堀之内薬師堂

(ほりのうちやくしどう)



この場所はいかにも中世的な趣のある場所です。  
周囲には以前観音堂や福智院などがありました。

B 常運院跡の板碑

(じょうりんいんあとのかたひ)

西部田の常運院跡の墓地の上には、南北朝時代の観応3年(1352)と、永和4年(1378)の供養塔である板碑があります。後者の主尊の阿弥陀は、わずかですが朱色に染められており学術的にも紹介されています。



H 堀之内八幡大神

(ほりのうちはちまんだいじん)



西坂神社と同時代の白鳳年代に創建されたとの伝承もあるが、創建は不詳。古村の堀之内の中心に鎮座し、神域も広く西部田の八幡大神が本社とされることなどから近郷の中核的存在であったと推測されます。

C 八幡大神と大椎の木

(はちまんだいじんとおおいのき)



西部田の八幡大神の祭神は、菅田別命(ほんだわけのみこと)ですが、創建は不詳。なお、江戸時代初期万治2年(1659)の改築を示す棟札が残されているほか、境内には樹齢千年以上とみられる大椎の木がたずんでいます。

F 県内最古の板碑

(けんないさいこのかたひ)



県指定文化財。鎌倉から室町時代にかけ、全国で板碑が造られ、このうち下総型板碑と呼ばれる粘土岩や雲母片岩を使用した供養塔は香取市を中心に分布。この中で最古の正嘉2年(1258)ものが谷中地区(樺宅)に造立されています。

D 谷中鉱泉跡

(やなかこうせんあと)



明治42年に谷中在住の瑞穂村長、高柴栄太郎が谷中鉱泉を発掘しています。

E 谷中西福寺

(やなかさいふくじ)

寺内光福寺の末寺です。墓地には南北朝の暦応4年(1341)の板碑1基のほか、江戸時代初期の元和元年(1615)の坊塔も造立されています。また、明治初期に西福寺に開塾した私塾の山田塾の顕徳碑も建立されています。



G 自性院

(じしょういん)

谷中の談議所にあります。真言宗で本山は奈良長谷寺です。自性院の名が戦国時代の観福寺文書にみえます。以前西坂に建立されていたとされますが、寺域には室町時代の板碑が8基あり、この地に自性院とは別に古く堂宇があったとみられます。

